

# ハレット

## 暑~い・熱~い 裸婦デッサン会

仲支部 柴田 伊久代

7月25・26日、石神コミセンで、恒例の裸婦デッサン会が行われました。外部の人や、東海村の絵画教室の受講者の参加もあり、両日とも40人近い人数でした。後から来た人は、描ける場所を捜すのに大変なようでした。うだるような暑さの中、この時とばかりにクロッキーに、デッサンにと、長い足のモデルと格闘していた皆様、お疲れさまでした。

出来、不出来は別として、暑い中汗をかきながら、頑張った充実感は何物にも替えがたいと思いました。また、美術連盟会員は、思いやり、助け合い、楽しみ合う、いい仲間の集まりだと再確認しました。

担当の仲支部は、東海村外の広範囲にわたるため人員の確保が難しく、準備から片づけまで、

大勢の方に助けていただきました。皆様のご協力のおかげで、無事終了することが出来ました。ありがとうございました。

秋の文化祭には、デッサン会で描かれた作品が何点か飾られる事でしょう。



皆さん！休憩時間ですよ〜。



## 東海村芸術祭を振り返って

芸術祭実行委員事務局長 加藤木 賢



出品作品も多彩にあって

芸術祭の反省会が7月23日に行われ、今年度の芸術祭関係の作業は、ほぼ終了しました。今年3月に急速芸術祭事務局長の役目を引き受ける

ことになり、前任者が残してくれた手順に従って、事前準備から芸術祭会期中の運営まで気配りをしながらの毎日でした。美術連盟の事務局作業は、定型化していたので楽でしたが、華道、技芸、茶道など7連盟のまとめとなると、それぞれの事情も異なり大変でした。各連盟の実行委員をはじめ、文化・スポーツ振興財団、社会教育課の協力、支援もあって無事終了し、頂いた感謝の言葉が疲れを癒してくれました。

来年度からは、ギャラリー1、2階を使用するの開催となりますのでより良い作品展となるよう期待します。







# Teaタイム 東海絵画同好会

会長 平野一暁さんに

● 会はいつ結成されましたか？

▲ 平成11年1月15日です。

● そのきっかけは何でしたか。そして、活動の目的は？

▲ 高橋忠治先生、佐藤康雄先生、門前由弘先生の発案とご指導により、絵画サークルと98同好会が合体して発足しました。活動は、絵画の趣味、愛好を目的に三人の先生方のご指導により表現力の向上を図っています。

● 会は現在、どのように運営されていますか？

▲ 運営は年末の役員会で、翌年の行事計画を作成し、人物デッサンを中心に実践しています。年会費は4,000円です。

● 入会するにはどのようにしたらよいですか？

▲ 会の趣旨に賛同し、入会を希望される方は、会員経由、又は、会長に申し込んで下さい。いつでもどうぞ。

● モデルさんをさがすのは、大変でしょう。工夫や苦勞をお聞かせ下さい。

▲ モデルさんは、おもに実行委員の方の紹介と、モデル希望者がいますので、苦勞は感じません。

● 発表の場についてお尋ねします。

▲ 会としては年一回、リコッテイで展覧会を行っています。また、各自、自由に各種の展覧会に出展しています。

● 会長さんから会員や連盟の皆さんにコメントを。

▲ この会は、三人の先生のご指導と、各役員並びに会員の尽力により成り立っています。楽しく活動できることに、ただただ感謝しております。



モデルさんに集中

## ギャラリー改修に伴う展覧会について

理事長 高橋 忠治



ご承知のことと思いますが、ギャラリーの改修工事が、10月から行われます。新装開設は平成22年4月と今のところ報告を受けております。例年2月に行われておりますアートロード東海ステーションギャラリー展は4月4日からということで検討されております。こうなると芸術祭の日程と近くなりますので、今のうちから作品制作に配慮が必要と思います。会員の皆様には、いつ何時でも対応ができるよう、作品制作に頑張りたいものです。

### information

9/ 8日～9/14日	創造美術会茨城支部小品展	ギャラリー サザ	【鴨志田 他】
9/12日～9/17日	21世紀新美会メンバーズ展	茨城県民文化センター	【仲田他】
9/25日～10/6日	木村隆絵画展	テクノ交流館リコッテイ	
10/3日～10/18日	茨城県芸術祭	茨城県近代美術館	
10/18日～10/24日	創造美術茨城支部展	東海ステーションギャラリー	【鴨志田他】
10/22日～11/ 3日	第18回東海絵画同好会展	テクノ交流館リコッテイ	【平野他】
10/30日～11/ 1日	東海村文化祭（展示部門）	東海村体育館	
11/6日～11/12日	新構造茨城作家展	茨城県民文化センター	【高橋G】

★11/7日～11/ 8日 美術連盟秋のスケッチが裏磐梯から長野妙高方面に変更決定されました。（東支部担当）





# これは便利!

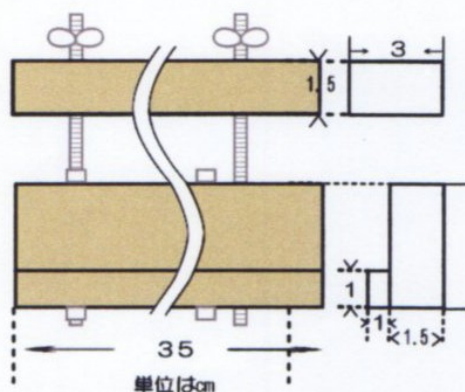
②



## イーゼルの巻

作 戸波正男さん

昔は、どこの家にもあったカメラの三脚。しまいこんで日の目に当たらない三脚。そんな三脚をイーゼルに利用すると、意外に軽く、持ち運びに便利です。また油絵の乾燥用に、出来上がった絵を飾ったりすることもできます。



### 準備するもの

- ・三脚 手持ちのもの、または手に入る三脚(望遠鏡の脚を含め)
- ・木材 (小割) 長さ35cm 厚さ1.5cm 巾3cm 2本  
長さ35cm 厚さ1cm 巾1cm 1本
- ・その他 ボルト(長さ8cm程度)、ちょうナット、ワッシャー、ナット

( 寸法はあくまでも手持ちの三脚に左右されるので、  
ご自分で検討願います。)

### 道具と作り方

のこぎり、金槌、ドリル。

作り方は写真(上)をご参考にしてください。  
大きな三脚は重いので80号でもひくともしませんよ!!。

### 情報をお知らせ下さい。

「こんなグッズもありますよ」また「こんな方法もありますよ」という情報をお持ちの方は、自薦、他薦にかかわらず、編集委員にお知らせ下さい。